

戦火は 命を奪い・財産を奪ってしまった

＝あのゴッホのひまわりの絵は芦屋で、消失してしまった＝

1945年8月6日、ヒロシマに原爆投下された日、芦屋の町にも大空襲があった。

「ゴッホのひまわり！が・・・」という悲痛な声をあげながら、持ち出すことが出来なかった絵は、山本顧弥太氏邸で消失してしまったのだ。

それはゴッホが画家への道を歩み出した頃、ゴーギャンとの共同生活を始める南仏の部屋に描かれた7枚のひまわりの内の1枚だった。

2枚目のそれは、背景がロイヤルブルーのひまわりで、大正9年(1920年)に日本に購入されていたのです。その頃、文芸誌「白樺」を主宰する武者小路実篤らの理想主義が提唱され、彼らは西洋美術の紹介にも力を入れていました。何とかその頃の作品を手に入れ

る為、支援者の実業家、山本顧弥太氏の力で購入されたものです。

ゴッホの絵は、何回か各地で展示会が開かれました。しかし念願の「白樺美術館」の設立は叶いませんでした。そしてその絵は、山本氏の芦屋の邸宅で保管されることになったのです。

現存する6枚のひまわりと、消失したその1枚は(芦屋のひまわりと呼ばれるようになりましたが)、今、7枚の絵は、陶板画として再現され、鳴門の「大塚美術館」で観ることが出来ます。

(西蔵町 竹内清子)



戦争させない、9条壊すな！

5.3 兵庫憲法集会

日時 5月3日(祝) 13:30 開会

場所 神戸・みなとの森公園

& ウェブ配信

ゲスト 金平 茂紀さん

(ジャーナリスト)

規模 3000人

主催：戦争させない、9条壊すな！
総がかり行動兵庫県実行委員会



署名ご協力有り難うございました

前回ニュースでお願いしました『改憲反対』署名は早速、72名の方から合計408筆の署名が届きました。わざわざ持参いただいた方もあり、みなさまの熱意が伝わります。ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。(事務局)引き続きよろしくお願いいたします。

芦屋「九条の会」17周年記念のつどい

生きる実感のない社会について —コロナ禍が示した憲法の形骸化—

講師 藤原 辰史(ふじはら たつし)さん
(京都大学人文科学研究所准教授)

日時 6月12日(日)
14:00~16:30

会場 市民センター(予定)

芦屋市・芦屋市教育委員会後援

新型コロナ危機は日本の抱える多くの問題を浮き彫りにしました。コロナ対策に憲法が十分に活かされていたら…。ご一緒に考えてみませんか。

*詳細は次号でお知らせします。
5日付朝日新聞、藤原さんの記事(コピー)を同封しています。

